

看護の統合実習での学び



看護の統合実習を通し、病棟での組織における看護師の役割を理解し、チーム医療の中での看護師としてのコミュニケーションの大切さを学ぶことが出来ました。就職した後の自分が目指す看護師像を考え、そのために自己の課題を見つける機会となりました。

看護の統合実習では病棟の看護チームに加わって動く際の視点や工夫点を実際に体験しながら学ぶことが出来ました。特に複数の患者さんを受け持たせていただいたことで、優先順位をつけながら看護することの大変さを身をもって知ることが出来ました。そして、改めて情報共有の大切さを感じることが出来ました。今回学んだことを忘れずに臨床でも生かしていきたいです。



看護の統合実習では、複数患者を受け持つ中で、援助の優先順位をつけながら行動していく事がどれほど大変なことなのか、という事を痛感しました。計画を立てていても、毎日イレギュラーのことが起こるので、焦りや不安の中、効率よく行動していく為に、自分は何から取り組むべきなのか、その都度整理しながら、実践していく事が大切だと学びました。